

# 主日礼拝

2023年06月25日  
午前10時30分

前奏 「いこいのみぎわに」 (H.G.レイ)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。」 ヨハネ 16:13a(讃美歌 21-51)

## 頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいのひとりの主よ、さかえとち  
からはた一だ主にあれ、と一こしえまで。  
アーメン。

## 交読詩編 23 編

一同：主は羊飼、わたしには何も欠けることがない。

司式者：主はわたしを青草の原に休ませ

会衆：憩いの水のほとりに伴い

一同：魂を生き返らせてくださる。

司式者：主は御名にふさわしく

わたしを正しい道に導かれる。

会衆：死の陰の谷を行くときも

わたしは災いを恐れない。

司式者：あなたがわたしと共にいてくださる。

会衆：あなたの鞭、あなたの杖

それがわたしを力づける。

司式者：わたしを苦しめる者を前にしても

会衆：あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

司式者：わたしの頭に香油を注ぎ

会衆：わたしの杯を溢れさせてくださる。

一同：命のある限り

恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り

生涯、そこにとどまるであろう。

## 祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあげさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく

地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、

悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。

アーメン。

## 賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ エレ イソン キリエ エレ イソン  
しゅよあわれみを しゅよあわれみを  
キリエ エレ イソン  
しゅよあわれみを しゅよあわれみを  
キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

## 聖書 使徒言行録 8:26~38 新約(新共同訳)P228~P229

26 さて、主の天使はフィリポに、「ここをたつて南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け」と言った。そこは寂しい道である。27 フィリポはすぐ出かけて行った。折から、エチオピアの女王カンダケの高官で、女王の全財産の管理をしていたエチオピア人の宦官が、エルサレムに礼拝に来て、28 帰る途中であった。彼は、馬車に乗って預言者イザヤの書を朗読していた。29 すると、「霊」がフィリポに、「追いかけて、あの馬車と一緒に行け」と言った。30 フィリポが走り寄ると、預言者イザヤの書を朗読しているのが聞こえたので、「読んでいることがお分かりになりますか」と言った。31 宦官は、「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」と言い、馬車に乗ってそばに座るようにフィリポに頼んだ。32 彼が朗読していた聖書の箇所はこれである。

「彼は、羊のように屠り場に引かれて行った。

毛を刈る者の前で黙している小羊のように、  
口を開かない。

33 卑しめられて、その裁きも行われなかった。

だれが、その子孫について語れるだろう。

彼の命は地上から取り去られるからだ。」

34 宦官はフィリポに言った。「どうぞ教えてください。預言者は、だれについてこう言っているのでしょうか。自分についてですか。だれかほかの人についてですか。」

35 そこで、フィリポは口を開き、聖書のこの箇所から説きおこして、イエスについて福音を告げ知らせた。36 道を進んで行くうちに、彼らは水のある所に来た。宦官は言った。「ここに水があります。洗礼を受けるのに、何か妨げがあるでしょうか。」37† 38そして、車を止めさせた。フィリポと宦官は二人とも水の中に入って行き、フィリポは宦官に洗礼を受けた。

## 賛美 98 「みどりの牧場に」

詞：藤本伝吉、1867-1935 曲：作曲者不詳

1 みどりのまきばにわれらをふさしめ  
 2 ひもとあし-たえたるあらの-はらにも、  
 3 わが主の-みかげのみえわか-ぬときも、

い-こいの-みぎわにわれらを-みちびく  
 さ-よえの-ひつじを子のごと-たずぬる  
 さ-やかに-みむねをわれらに-さとすは、

(くりかえし)  
 そ の こ え - 。 かみのひ-とよ -、 かみのひ-と  
 そ の こ え - 。  
 そ の こ え - 。

よ -、ゆたかなみめぐみ あれ - や - 。

- みどりの牧場に 我らを臥さしめ  
 いこいの水際に 我らをみちびく  
 そのこえ。  
 神のひとよ、神のひとよ、  
 豊かなみ恵みあれや。
- 人足たえたる 荒野のはらにも  
 まよえる羊を 子のごと尋ぬる  
 そのこえ。  
 神のひとよ、神のひとよ、  
 豊かなみ恵みあれや。
- わが主の御影の 見えわかぬ時も、  
 さやかに御言を 我らにさとすは、  
 そのこえ。  
 神のひとよ、神のひとよ、  
 豊かなみ恵みあれや。

## 説教 「一人と向き合う教会」

## 賛美 478 「どんなものでも」

Von Gott will ich nicht lassen. 1837-1898 曲：Ritzi, 1853

1 どなたも なんと 見えぬ ものの 世界に 物も 心はずい なのを たあし しいが を  
 2 たいいせ たいいせ たいいせ たいいせ たいいせ たいいせ たいいせ たいいせ たいいせ たいいせ  
 3 あつわす わ たす わ たす わ たす わ たす わ たす わ たす わ たす わ たす  
 4 わすめと わすめと わすめと わすめと わすめと わすめと わすめと わすめと  
 5 わすめと わすめと わすめと わすめと わすめと わすめと わすめと わすめと

- どんなものでも この私を  
 神より離すことはできない。  
 朝に夕に み手を伸ばして  
 私を守る 神の恵み。
- たとえこの世の 人の愛が  
 私を見捨て 裏切るとも、  
 罪と死との 鎖をほどき  
 救うみ神の 恵みがある。
- たとえ悩みに 沈むときも  
 み神の愛に より頼もう。  
 私の身も 魂もみな  
 み神のもとに あるのだから。
- 痛み苦しみ 世に満ちても、  
 やがてこの世は 過ぎ去りゆく。  
 主キリストに 私が出会う  
 その喜びは 永遠につづく。
- 世界と人の 造りぬしに  
 恵みにみちた 神のみ子に  
 私たちを みちびく霊に  
 永遠にかわらず 栄光あれ。

## 派遣

司式者 主は言われます。  
 「わたしは誰を遣わすべきか。」  
 会衆 わたしがここにおります。  
 わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン

アーメン アーメン アーメン

## 後奏 「どんなものでも(讃478)」

(D.ブクステフーデ)

司式 要田 悟史  
 説教 向井 希夫牧師  
 奏楽 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、

座ったままで礼拝をお守り下さい。

※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。